

幾代会 9月観察会のまとめ 2025/9/7 (日) : あきる野市小峰公園

武藏五日市駅前から京王八王子駅行バス 10:30—小峰公園

参加者.太田,池田,鈴木,北澤,岡,深川,櫻井,梅田（敬称略）8名 担当：櫻井,梅田



【小峰公園ビジターセンター】

係の方からは、公園が多摩の里山見本園をコンセプトに、自然の保護と回復を図り、地域の皆さんのがその恵みを受けられることを目的としていますとお話をありました。例えば二つの谷戸（やと）で稻刈り、力カシ作りを年間のイベントとして企画したり、三本の尾根（里山尾根、桜尾根、ホオジロ尾根）では、気軽にピクニックやハイキングを楽しめるよう自然地を保全しているとのことでした。



【園内ハ坂神社】

公園のある留原集落では鎮守の天王さまとしてこのハ坂神社を大切にし8月には例大祭も執り行っているそうです。

参道左側の狛犬様に迎えられ、拝殿に進むと唐破風の社紋があり、見事な彫刻もありました。拝殿脇の標柱には「天壤無窮」と刻まれ【天壤（あめつち）窮（きわ）まり無し】と訓読みし、天地は永遠に極まりなく続くことを表した四字熟語だそうです。（抜粋）



【稻刈りと案山子(力カシ)つくり】

稻刈りは、まだ時期が早く見学ができませんでした。力カシは市民の皆さんのが熱心に作成中でしたが、まだ作り始めの段階で残念ながら力カシだとわかる形で見ることができませんでした。

係の方の始めのお話にもありましたが、この谷戸（やと）とは、丘陵地が浸食されて形成された谷状の地形のことをいい、大量の水を使う水稻耕作において、治水技術が発達していなかった頃は、まさしく公園のような地形が適していたのでしょうか。

【桜尾根】

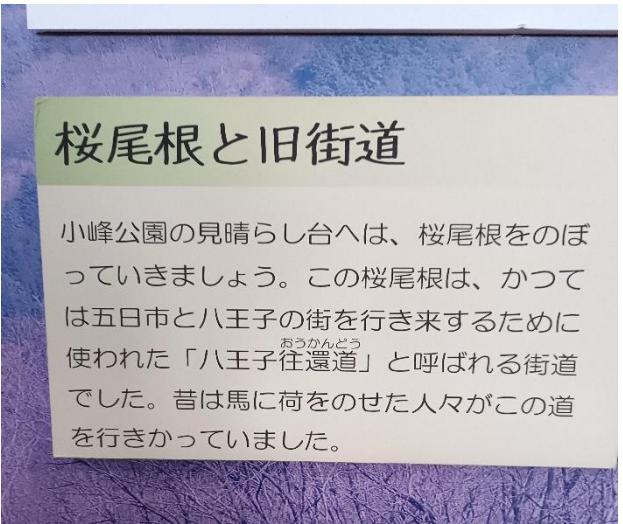
小峰公園の中心を通っていて、尾根道の両側にはヤマザクラやソメイヨシノの大木が並び、毎年春にはサクラのトンネルが楽しめるそうです。

今回は、ホオノキの大きな葉がはっきりとした影を作ってくれていました。

名前の由来である「ホオ」は「包」を意味し、大きな葉で食べ物などを包むことに用いたことも納得できます。



桜尾根に旧街道へ通じる看板がありました⇒



【散策が終わって皆さんからの一言】

- ・思ったより暑さが気にならず、楽しい一日でした。
- ・たちがれのような樹木があり、この暑さで枯れたのか気になりました。
- ・カカシ作りが見られず残念でした。
- ・公園の役割がよくわかり勉強になりました。
- ・残暑の中にもかかわらず、思った以上の来園者でびっくりしました。
- ・日陰に入ると暑さから解放され、ひんやりとした風が心地よかったです。
- ・参加の皆さんに喜んでもらえて良かった。



⇒今回配布した資料

ガイドマップから草花を探すのは容易ではありませんでしたが、見つけられたのは：ウバユリ、キツネノマコ、センニンソウ、ヒヨドリバナ、ハギ、ヌスピトハギ、ゴンズイ、セリバオウレン、ヤブミョウガ、ハグロソウ、ヤマユリ、ウツボグサ、ウマノスズグサ（↓）などです。

野の草花・逆引きリスト

1 ネムノキ ナツツバキ リョウブ	2 ナツツバキ ヤマボウシ
3	4 マタタビ オオバガボウシ
5 アジサイ	6 アジサイ
7 タマアジサイ	8 アジサイ
9 アジサイ オオバガボウシ	10
11 クサギ	12 リョウブ クサギ
13 リョウブ アジサイ	14
15 アジサイ	

花の見どころガイドマップ*

国内で絶色の春芽を咲かせた
このガイドマップで聞いてみませんか?
夏の小峰公園を楽しむために
お役に立つ情報を載せてあります。

東京都立小峰公園 小峰ビジターセンター
〒199-0152 市川市あさる野町留264-1
TEL: 042 (595) 0406 FAX: 042 (595) 2365

監修: 東京都立小峰公園
企画・監修: 一般社団法人 東京都市計画協会
協力: 東京都立小峰公園
発行: 東京都立小峰公園
TEL: 03-3332-0010 03-3321-1230 (受付時間: 9時~17時)



〈番外編〉

園内で巣を張っていた「ジョロウグモ」について会員の方からの説明です。

成熟した雌の腹部には幅広い黄色と緑青色の横縞模様があるのが特徴で、腹部下面に鮮紅色の紋がある。

また、ジョロウグモの網は、大きくて複雑な網を張り、網の糸は黄色を帯びてよく目立つ。網が層に分かれているのは理由があり、獲物の捕獲のための層、自分の住まいのための層、獲物を捕らえたあとに残ったゴミを貯めるための層と役割別になっているそうです。また、交接した雄がそのまま網に居残ることが知られるが、その後雌にエサとして食べられる。こういったことは子孫を残すためやむを得ない行動と考えられているようです。